



# 安全安定輸送に駅検は必要不可欠である!

## 申11号 新潟駅検査の業務廃止についての申し入れ

新潟地本は、地本申11号として「新潟駅検査の業務廃止についての申し入れ」を新潟支社に提出しました。

1月30日に支社側より「検修体制の見直し」として新潟駅検査の業務廃止について提案を受けました。この間国鉄時代から新潟駅検査業務は新潟地域における鉄道輸送を現場から最前線で担い、会社が掲げる安全安定輸送、質の高い商品、サービスの提供・お客さま満足度の向上に、車両の専門知識を持った社員が三現主義を確実に実行し、地域の足を守ってきました。

115系の分割併合作業の解消を理由に、4月15日の新潟駅高架化第一期開業に合わせ新潟駅検査の廃止が提案されました。しかし、新潟支社で運用される主力形式が新系列車両に置き換わった現在でも不具合が発生し、異常時における専門的な判断、見解が必要とされています。

構内配線の複雑化と直通運転の増加により、一本の列車の遅れが広範に影響を与える今日において、新潟駅検査業務の必要性はより高まっているといえます。また、駅検査業務の廃止により判断の遅れや足ロスの発生などのリスクが想定されます。今現在以上の水準で安全安定輸送と質の高い商品・サービスの提供を実現し続けるには非現実的な施策であり到底納得できるものではありません。

駅検査が廃止された場合の将来像について真摯に議論することで、未来の会社を創り上げていくため、下枠の通り申し入れました。

### 申11号 申し入れ項目

1. 新潟駅検査の位置付けについて会社側の考えを明らかにすること。
2. 新潟駅検査廃止後、現在と同様の安全安定輸送・質の高いサービスの提供ができるか明らかにすること。
3. 新潟駅検査がこの間行っていた判断業務は誰がどのように行うのか明らかにすること。
4. 派遣修繕で発生する足ロスがお客様に与える影響及び受け止め方について会社の考えを明らかにすること。